

令和 6 年度和光市内循環バス運行実績

令和6年度和光市内循環バス（以下、「循環バス」という。）の運行事業が完了したので下記のとおり報告いたします。

1. 利用者数

令和 6 年度の循環バスの利用者数（表1）については、164,305 人であり、前年度比では約 5.9%の増加となっています。特に令和 6 年 7 月以降の月別利用者数（表2）は毎月、前年同月を上回っています。

コース別の利用者数（表3）については、赤池コースが特に利用者が多い傾向です。越後山コース、向山・牛房コース、白子・吹上コースの利用者数はほぼ同水準となっています。坂下・新倉コースはワゴン車両である為、他コースと比較して利用者が少ない傾向です。

利用者数に占める優待・一般利用者の割合（表4）については、4:6 で一般利用の方が多い状況となっています。

表1 総利用者数（人）

令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比
155,029	164,305	+9,276 (105.9%)

表2 月別利用者数

	令和5年度	令和6年度	前年同期比
4月	12,883	12,453	96.6
5月	13,255	12,675	95.6
6月	13,498	13,056	96.7
7月	14,065	15,921	113.3
8月	15,184	15,811	104.1
9月	14,654	14,803	101.0
10月	14,665	15,290	104.3
11月	13,456	13,990	104.0
12月	12,462	12,545	100.6
1月	8,854	11,769	132.9
2月	10,310	12,030	116.7
3月	11,743	13,962	118.9
合計	155,029	164,305	105.9

表3 コース別利用状況

合計	赤池	越後山	向山牛房	白子吹上	坂下新倉
164,305	56,185	28,959	29,161	29,459	20,541

表4 利用者に占める優待・一般利用者の割合

	優待		一般	
	利用者数	利用割合	利用者数	利用割合
令和5年度	93,800	60%	61,229	40%
令和6年度	66,422	40%	97,883	60%

2. 運行経費及び運賃収入

令和6年度の運賃収入は、前年度と比較して約870万円の増額となっています。これは運賃及び優待制度の見直しと利用者数の増加によるものです。

一方、循環バスの運行見直しに伴い、運行経費も増額されています。これまでの3路線から5路線となったことから、人件費や車両の保険料、燃料費等が増額されています。その為、市の負担額についても前年度から約1000万円の増額となっています。

なお、収支率については前年度から約6%増加した20.0%となっています。

表5 運行経費及び収支状況

	運行経費	運賃収入(税抜)	市負担額	収支率
令和5年度	67,256,079	9,239,874	58,016,205	13.7%
令和6年度	86,194,511	17,934,607	68,259,904	20.8%
前年度比	+18,938,432	+8,694,733	+10,243,699	+7.1%

3. その他(報告事項)

(1) 坂下・新倉コースのワゴン車両へのラッピング車両導入

令和7年3月14日より、坂下・新倉コースを運行する車両にラッピング車両を導入しました。この車両は、小型バス(ポンチョ)と同じデザインとなっており、これまでの車両と比較して、遠くからでも一目で分かるデザインとなっています。

(2) 白子・吹上コースのバス車両の変更

令和7年4月14日より、白子・吹上コースの車両に小型バス(ポンチョ)を導入しました。これにより、これまでのマイクロバスでは課題であった、車椅子での利用が可能になりました。また、車内のスペースが広がったことにより、カートや歩行器等を持った方も利用しやすくなっています。



(3) ICカードリーダーの更新

令和 7 年 4 月 14 日より、白子・吹上コースと坂下・新倉コースの IC カードリーダーを更新しました。これにより、これまで課題であった、交通系 IC カードの読み取りがスムーズになり、乗車時に要する時間や手間も省かれました。

(4) 周知活動

令和 7 年 5 月 31 日に和光市役所で開催された、わこらぼまつりにおいて、和光市内循環バスや自動運転サービス導入事業の周知活動、市内循環バスや公共交通に係る相談のほか、市内循環バスの乗務員募集に係る PR も行いました。

